

令和8年度（2026年度）

学生募集要項

- 学校推薦型選抜
- 社会人選抜
- 外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜



公立小松大学

令和8年度（2026年度）選抜日程

学校推薦型選抜

試験区分	Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
地域推薦 ・ 市内推薦 ・ 県内推薦 ・ 北陸3県推薦 ^{※1}	令和7年 10月30日(木)	令和7年 11月1日(土) ～ 11月7日(金)	令和7年 11月15日(土)	令和7年 12月1日(月)	令和7年 12月8日(月)
一般推薦 ^{※2}	令和7年 11月28日(金)	令和7年 12月2日(火) ～ 12月12日(金)	令和7年 12月20日(土)	令和8年 2月10日(火)	令和8年 2月17日(火)

※¹ 地域推薦（北陸3県推薦）は生産システム科学科のみ実施します。

※² 一般推薦は大学入学共通テストの受験が必要です。

社会人選抜・外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）

試験区分	Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
社会人選抜 ^{※3}		令和7年 11月1日(土) ～ 11月7日(金)	令和7年 11月15日(土)	令和7年 12月1日(月)	令和7年 12月8日(月)
外国ルーツ 選抜 ^{※4}					

※³ 社会人選抜は看護学科・臨床工学科のみ実施します。Web 出願は行いません。

※⁴ 外国ルーツ選抜は看護学科のみ実施します。Web 出願は行いません。

目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 学校推薦型選抜	9
1. 地域推薦	9
（1）募集人員	9
（2）出願資格	9
（3）推薦要件	10
（4）選抜方法	11
（5）試験日・試験時間・試験場	11
（6）出願手続	12
（7）受験票のダウンロード	13
（8）合格発表	14
（9）入学手続	14
2. 一般推薦	15
（1）募集人員	15
（2）出願資格	15
（3）推薦要件	15
（4）選抜方法	16
（5）試験日・試験時間・試験場	21
（6）出願手続	21
（7）受験票のダウンロード	23
（8）合格発表	23
（9）入学手続	23
III. 社会人選抜	24
（1）募集人員	24
（2）出願資格	24
（3）選抜方法	24
（4）試験日・試験時間・試験場	25
（5）出願手続	25
（6）受験票の発送	27
（7）合格発表	27
（8）入学手続	27
IV. 外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜	28
（1）募集人員	28
（2）出願資格	28
（3）選抜方法	28
（4）試験日・試験時間・試験場	28
（5）出願手続	29
（6）受験票の発送	31
（7）合格発表	31
（8）入学手続	31
V. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談	32
VI. 選抜情報の公表	32
VII. 個人情報の取扱い	32
VIII. 初年度学納金等(予定)	33
IX. お問い合わせ先	34
X. 試験場所在地等	34

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

生産システム科学部生産システム科学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

2. サステナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人

（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）

3. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びをもって貢献できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力

高等学校の教育課程で学ぶ数学と物理の知識は、科学的及び工学的な視点で現象を理解するために必須である。また、論理的に思考し、実験レポートや報告書を記述するための日本語力、国際的な視野で考え行動するために英語力が重要である。

2. 自ら問題を発見し、問題を解決する習慣

社会における様々な事象について、自ら問題を発掘・発見し、その問題を解決する姿勢や習慣が必要である。そのためには、生涯の自己研鑽が必要で、自ら進んで学ぶ習慣を身につけることが重要である。

3. 他者と連携・協働し、誠実に取り組む姿勢

通常、実験や実習は、複数人のチームで行うため、他者（共同実験者）と連携・協働して行う実践力及び誠実に取り組む姿勢を身につけることが重要である。

【入学者選抜の方針】

〔一般選抜（前期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、5 教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）6 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、数学及び理科（物理基礎・物理）を課し、理系の基礎学力を確認する。

〔一般選抜（中期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、3 教科（数学、理科、外国語）4 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、理科を課し、基礎学力を確認する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、数学、物理の基礎的な試問を含む多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由は、面接試験の参考にする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、2 教科（数学、理科）3 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由は、面接試験の参考にする。

保健医療学部看護学科

【求める学生像】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した 3 つのすべてを併せもつ学生を求める。

(知識・技能)

1. 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力をもった人
(思考力・判断力・表現力)
2. 人々の営みや健康問題に関心をもち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができ、様々な人々と協力できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校で学ぶ諸科目に関する高い基礎学力
看護学は人々の命と健康を支える学問である。自然科学（生物、また化学、物理も学んでおくとうれしい）と、人の営みの理解につながる人文・社会の幅広い知識を積極的に学び、入学後に学習する生命の構造や機能、疾患のメカニズム、薬物の作用などを理解していくための基礎的な学力を備えておくことが求められる。また、看護は多様な人々との連携・協働が大切となるため、他者とのコミュニケーション能力と語学力につながる国語と外国語の学習が求められる。
2. 他者の価値観を理解し、協力する姿勢
保健・医療・福祉の実践はチームで取り組むため、他者の価値観を理解し、協力して取り組む姿勢が求められる。また、他者の価値観や立場を理解しながら、自身の考えを適切に伝えることができる力の基礎として、考えを整理し表現する習慣を身につけておくことが望ましい。
3. 主体的・論理的に探究する学習習慣
看護専門職として生涯にわたり主体的に学習を継続することが重要である。疑問を解決するために自ら進んで調べ、理解できるまで学習に取り組む粘り強い姿勢と、知識を獲得し深めるための学習習慣、及び知識を活用し論理的に考える習慣を身につけることが望ましい。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 学力のみでは測ることのできない多様性を備えた学生の確保を目的として実施する。
- 2) 大学入学共通テストでは、数学及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 3) 個別試験では、面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 4) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、日本語で論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

保健医療学部臨床工学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
(思考力・判断力・表現力)
2. 医療及びその関連分野の事象や課題を論理的にとらえ、それらに対する自分の考えを表現できる人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らのもつ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
4. 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目の堅固な基礎学力
高等学校の教育課程で学ぶ理科と数学の知識は科学的な視点で事象を理解するために必要である。また、国語と英語の能力は、社会の様々な情報の収集、発信、及び記述のために求められる。
2. 人間の生命や社会活動に関する事象を主体的・論理的に探究する姿勢
医療及びその関連領域において、課題に対処していくため、または知識を深めていくために、自ら知識を収集し道筋を立てて考える姿勢が求められる。
3. 他者の価値観を理解し、常に温かな配慮をもって他者と接する姿勢
医療・保健・福祉の分野では、各医療専門職の連携（チーム医療）が、高度化・細分化した医療を適切に提供するために求められている。このチーム医療の観点から、他者と協働して物事に取り組む姿勢が重要となる。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、外国語、地理歴史・公民、及び国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、及び面接試験により学習意欲や能力を総合的に判定する。
- 3) 面接試験では、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

国際文化交流学部国際文化交流学科

【求める学生像】

国際文化交流学科は国際的視野を身につけ、それを地域貢献に活かすことを目指す人文社会系の学科であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している人
2. 異文化社会と地域社会の相互関係に常に関心を持ち、情報分析や外国語などのスキルを向上させる意欲をもつ人

(思考力・判断力・表現力)

3. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できる人
4. 知的探究心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物事を捕らえることができる人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
5. 良心と社会規範に従って、良識ある行動をとることができる人
6. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる人
7. 自らの成長のために粘り強く物事に取り組むことができる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力
高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について広く理解できていることを求める。
2. 他者とのコミュニケーションとリスペクト
異文化社会と関わっていくためのコミュニケーションの道具である言葉に関するスキルを磨くことはもちろん、自分と異なる「あたりまえ」に対するリスペクトをもつことは大切である。
3. 自分を取り巻く社会への関心
国際社会でいま起こっていること、あるいは自分の身近な地域が抱える問題などに日頃から関心をもって目を向ける習慣を身につけておくこと。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）より5科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・英文を読んで適切に理解することができるか

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、5 教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）より 4 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 2) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・英文を読んで適切に理解することができるか

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、3 教科（国語、地理歴史・公民、英語）3 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 3) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

Ⅱ．学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、地域推薦（市内・県内・北陸3県）及び一般推薦により実施します。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合も含む。）へ出願で
きるのは、1つの大学・学部に限られます。

1．地域推薦

地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施します。

地域推薦は、大学入学共通テストを課しません。調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書、及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料として用います。

（1）募集人員

学部学科	募集人員			
	市内	県内	北陸3県	
			一般	女子
生産システム科学部 生産システム科学科	6人	—	12人	5人
保健医療学部 看護学科	5人	5人	—	—
保健医療学部 臨床工学科	2人	3人	—	—
国際文化交流学部 国際文化交流学科	7人	6人	—	—
合 計	20人	14人	12人	5人

- （注）1．市内とは石川県小松市内を、県内とは石川県内（小松市を含む。）を指します。
 2．北陸3県とは石川県（小松市を含む。）、富山県、福井県の3県を指します。
 3．学校推薦型選抜の合格者（入学手続き者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。
 4．「—」印は、当該選抜を実施しないことを示します。

（2）出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

- ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業した者及び卒業見込みの者
 イ 通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

（３）推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の学習成績概評が B 段階以上（全体の学習成績の状況 3.5 以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、**合格した場合、入学することを確約できる者**

① 市内推薦

次の i 又は ii のいずれかに該当する者で、iii に定める推薦人数とします。

- i 小松市内に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校卒業年度の 4 月 1 日以前から引き続き本人又は保護者※が小松市内に住民登録がある者で、小松市外に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

※ 保護者とは、父母又は主たる生計維持者をいいます。

- iii 高等学校からの推薦人数は、学科ごとに次の通りとします。

- ・生産システム科学部 生産システム科学科 1 校男女を問わず最大 3 人に加え、女子 1 人の合計 4 人以内
- ・保健医療学部 看護学科 1 校 2 人以内
- ・保健医療学部 臨床工学科 1 校 1 人以内
- ・国際文化交流学部 国際文化交流学科 1 校 3 人以内

② 県内推薦（保健医療学部、国際文化交流学部のみ）

次の i に該当する者で、ii に定める推薦人数とします。

- i 石川県内（小松市内を含む。）に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校からの推薦人数は、各学科ともに 1 校 1 人以内とします。

③ 北陸 3 県推薦（生産システム科学部のみ）

次の i に該当する者で、ii に定める推薦人数とします。

- i 石川県（小松市内を含む。）、富山県、福井県に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校からの推薦人数は、次の通りとします。
 - 一般枠 1 校 2 人以内
 - 女子枠 1 校女子 1 人以内

（４）選抜方法

地域推薦は、大学入学共通テストを課しません。調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、及び以下の試験科目により学習意欲や能力を総合的に判定します。

学部学科	科目名	配点	内容
生産システム科学部 生産システム科学科	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、学習意欲と資質を評価します。 (数学・物理の基礎に関する試問を含む。)
保健医療学部 看護学科	面接 (個人)	200 点	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評価し、それらを総合的に評価します。
保健医療学部 臨床工学科	面接 (個人)	200 点	医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、学習意欲と資質を評価します。
	課題 作文	100 点	日常生活又は地域、国際をテーマとする英語による導入文（リード文）を提示し、当該テーマについて日本語で自由作文させることで、文章表現能力等を評価します。

（注）地域推薦は全て同一の選抜方法で実施します。

（５）試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和 7 年 11 月 15 日（土） 面接（個人） 9：00～	栗津キャンパス
保健医療学部 看護学科	令和 7 年 11 月 15 日（土） 面接（個人） 9：00～	末広キャンパス
保健医療学部 臨床工学科	令和 7 年 11 月 15 日（土） 面接（個人） 9：00～	中央キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和 7 年 11 月 15 日（土） 課題作文 9：00～10：30 面接（個人） 11：30～	中央キャンパス

（注）地域推薦は全て同一の日程で実施します。

（６）出願手続

インターネットを利用したWeb出願により手続きします。

「Web出願手順の流れ」（本学ホームページ トップ＞入試情報＞学生募集要項）を熟読の上、志願者情報の登録と入学検定料の納入を行い、Webから出力した書類等の出願書類を揃えて郵送してください。

① 出願期間

令和7年11月1日（土）～11月7日（金） ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送（書留速達郵便）のみとし、出願期間最終日の午後5時必着とします。出願期間後に到着した書類のうち、出願期間最終日の前日までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 入学検定料

入学検定料 17,000円

「Web出願の流れ」（本学ホームページ トップ＞入試情報＞学生募集要項）を参照してください。また、振込手数料は志願者負担となります。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、17,000円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000円を返還します。

ウ 入学検定料を17,000円よりも多く払い込んだ場合は、超過した金額を返還します。

※ 上記「ア」～「ウ」に該当する場合は、本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、令和8年2月27日（金）までに連絡してください。本学から該当者に入学検定料返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要になりますので、各自で大切に保管してください。

③ 郵送する出願書類

志願者は、以下の出願書類を、一括して送付用宛名シートを貼付した角2封筒に入れ、出願期間内に書留速達郵便で郵送してください。 ※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、**出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。**

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更、及び入学検定料の返還（【入学検定料の返還について】（12ページ）に記載した場合は除く。）には応じません。

【出願書類】

書 類		説明事項
1	入学志願書	入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。
2	写真票	入学検定料の支払い後、A4判の書類の印刷が可能となります。 出願前3か月以内に、単身、無帽、無背景、および上半身正面で撮影した、鮮明な志願者本人画像をアップロードしてください。補正等を行った画像は使用しないでください。
3	調査書等	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を提出してください。これらの書類を提出できない場合は、提出できない旨を証明する書類を、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成してもらい提出してください。
4	推薦書	添付の本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。様式（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）をダウンロードしてください。
5	志願理由書	添付の本学所定の様式に、志願理由をできるだけ具体的に500字以内で記入し提出してください。様式（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）をダウンロードしてください。
6	角2封筒（1枚）	出願書類の送付に必要となります。出願者が準備し、送付用宛名シートを貼り付けたものを郵送してください。

（7）受験票のダウンロード

① 受験票ダウンロード通知メール

Web出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。通知後に、Web出願サイトからの受験票及び受験上の注意等のダウンロードが可能になります。

個別試験の当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

【通知メール送信日】

学校推薦型選抜 地域推薦(市内・県内・北陸3県) 令和7年11月11日(火)

なお、通知メールが届かない場合であっても、出願が完了していれば、通知メール送信日以降に受験票をダウンロードすることができます。

令和7年11月13日(木)になっても受験票をダウンロードできない場合や、ダウンロードした受験票の記載内容に誤りがある場合は、本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、連絡してください。

② 受験票の保管

受験票は、個別試験及び合格発表後の入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

（８）合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。

合格者には、「合格通知書」を送付します。受験者の出身学校長にも、合否の結果を通知します。

発表日時 令和 7 年 12 月 1 日（月）午前 10 時（令和 7 年 12 月 8 日（月）まで）

発表方法 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

（９）入学手続

入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】令和 7 年 12 月 1 日（月）～12 月 8 日（月） ※ 期間内必着

2. 一般推薦

学力のみでは測ることができない多様性を備えた学生の確保を目的として実施します。

一般推薦は、大学入学共通テストにより一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料として用います。

なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

（１）募集人員

学部学科	募集人員
生産システム科学部 生産システム科学科	7 人
保健医療学部 看護学科	2 人
保健医療学部 臨床工学科	3 人
国際文化交流学部 国際文化交流学科	7 人
合 計	19 人

（注）学校推薦型選抜の合格者（入学手続き者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（２）出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

イ 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

（３）推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の学習成績概評が B 段階以上（全体の学習成績の状況 3.5 以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者

ア 大学入学共通テストで志願する学部学科が課す教科・科目を受験する者

イ 高等学校からの推薦人数は、学科ごとに 1 校 1 人以内です。

（４）選抜方法

一般推薦は、大学入学共通テストと個別試験により実施します。調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査及び、各学科が課す試験科目により学習意欲や能力を総合的に判定します。

大学入学共通テストで、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。また、個別試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ失格となります。各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入学共通テストの注意事項」も必ず参照してください。

※ 大学入学共通テストの受験に関しては、独立法人 大学入試センターが提供する「大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験案内」を必ず参照してください。

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 〔2教科3科目〕	数学	『数学Ⅰ、数学A』	200 点 (100×2)	300 点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	理科	『物理』	100 点	
個別試験	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。	100 点	100 点
合 計				400 点

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 「2教科3科目」	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	300点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
個別試験	その他	「面接（個人）」 医療・看護専門職業人をめざすものとしての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に判断します。	200点	200点
合 計				500点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目ともに、素点100点満点を傾斜し50点満点とします。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 「2教科3科目」	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	300点
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
個別試験	その他	「面接（個人）」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。	200点	200点
合 計				500点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目ともに、素点100点満点を傾斜し50点満点とします。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分	教科	科目名	配点	合計
大学入学共通テスト 「3教科3科目」	国語	『国語』	100 点	400 点
	地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から 1 科目	100 点	
	公民			
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200 点	
個別試験	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。	200 点	400 点
	その他	「課題作文」 日常生活又は地域、国際をテーマとする日本語による導入文 （リード文）を提示し、当該テーマについて自由作文させる ことで、文章表現能力等を評定します。	200 点	
合 計				800 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜し 100 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、この中から必ず 2 つを選択してください。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を傾斜配点し、200 点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点 100 点満点）を 2 倍した 200 点満点とします。

（５）試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和７年１２月２０日（土） 面接（個人） ９：００～	栗津キャンパス
保健医療学部 看護学科	令和７年１２月２０日（土） 面接（個人） ９：００～	末広キャンパス
保健医療学部 臨床工学科	令和７年１２月２０日（土） 面接（個人） ９：００～	中央第２キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和７年１２月２０日（土） 課題作文 ９：００～１０：３０ 面接（個人） １１：３０～	中央キャンパス

（６）出願手続

インターネットを利用したＷｅｂ出願により手続きします。

「Ｗｅｂ出願手順の流れ」（本学ホームページ トップ＞入試情報＞学生募集要項）を熟読の上、志願者情報の登録と入学検定料の納入を行い、Ｗｅｂから出力した書類等の出願書類を揃えて郵送してください。

① 出願期間

令和７年１２月２日（火）～１２月１２日（金） ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送（書留速達郵便）のみとし、出願期間最終日の午後５時必着とします。出願期間後に到着した書類のうち、出願期間最終日の前日までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 入学検定料

入学検定料 １７，０００円

「Ｗｅｂ出願の流れ」（本学ホームページ トップ＞入試情報＞学生募集要項）を参照してください。また、振込手数料は志願者負担となります。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、１７，０００円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、１７，０００円を返還します。

ウ 入学検定料を１７，０００円よりも多く払い込んだ場合は、超過した金額を返還します。

エ 出願受付後、本学が課す大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合は、１３，０００円を返還します。

※ 上記「ア」～「エ」に該当する場合は、本要項 34 ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、令和 8 年 2 月 27 日（金）までに連絡してください。本学から該当者に入学検定料返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要になりますので、各自で大切に保管してください。

③ 郵送する出願書類

志願者は、以下の出願書類を、一括して送付用宛名シートを貼付した角 2 封筒に入れ、出願期間内に書留速達郵便で郵送してください。 ※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、**出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。**

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便 Web サイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更、及び入学検定料の返還（【入学検定料の返還について】(21 ページ)に記載した場合は除く。）には応じません。

【出願書類】

書 類		説明事項
1	入学志願書	入学検定料の支払い後、A4 判の書類の印刷が可能となります。
2	写真票	入学検定料の支払い後、A4 判の書類の印刷が可能となります。 出願前 3 か月以内に、単身、無帽、無背景、および上半身正面で撮影した、鮮明な志願者本人画像をアップロードしてください。補正等を行った画像は使用しないでください。
3	調査書等	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を提出してください。これらの書類を提出できない場合は、提出できない旨を証明する書類を、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成してもらい提出してください。
4	推薦書	添付の本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。様式（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）をダウンロードしてください。
5	志願理由書	添付の本学所定の様式に、志願理由をできるだけ具体的に 500 字以内で記入し提出してください。様式（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）をダウンロードしてください。
6	角 2 封筒（1 枚）	出願書類の送付に必要となります。出願者が準備し、送付用宛名シートを貼り付けたものを郵送してください。

（７）受験票のダウンロード

① 受験票ダウンロード通知メール

Ｗｅｂ出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。通知後に、Ｗｅｂ出願サイトからの受験票及び受験上の注意等のダウンロードが可能になります。

個別試験の当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

【通知メール送信日】

学校推薦型選抜 一般推薦

令和７年１２月１７日（水）

なお、通知メールが届かない場合であっても、出願が完了していれば、通知メール送信日以降に受験票をダウンロードすることができます。

令和７年１２月１８日（木）になっても受験票をダウンロードできない場合や、ダウンロードした受験票の記載内容に誤りがある場合は、本要項３４ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、連絡してください。

② 受験票の保管

受験票は、個別試験及び合格発表後の入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

（８）合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。

合格者には、「合格通知書」を送付します。受験者の出身学校長にも、合否の結果を通知します。

発表日時 令和８年２月１０日（火）午前１０時（令和８年２月１７日（火）まで）

発表方法 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

（９）入学手続

入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】令和８年２月１０日（火）～２月１７日（火） ※ 期間内必着

Ⅲ. 社会人選抜

社会人選抜はWeb出願受付を行っておりません。出願を希望する場合は、事前に本学へ電話で連絡し出願書類を取り寄せる必要があります。出願書類の取り寄せは連絡を受けてから到着までに、5日～7日ほどかかります。出願に余裕をもって請求してください。

(1) 募集人員

学部学科	募集人員
保健医療学部 看護学科	若干名
保健医療学部 臨床工学科	若干名

(2) 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当し、満23歳（令和8年3月31日時点）に達しており、社会人としての実務経験（非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。）を3年以上有する者

ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※1 社会人としての実務経験について、定時制・通信制及び夜間部等における学校在学期間中の勤務期間、家業（自営業等）の従事期間は、実務経験に算入します。実務経験に関する質問等は、本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」まで確認してください。

※2 上記出願資格「ウ」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1か月前までに本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」まで確認してください。

(3) 選抜方法

本選抜は、大学入学共通テストを課しません。調査書、志願理由書の出願書類審査、面接、小論文により総合的に判定します。

学部学科	科目名	配点	内容
保健医療学部 看護学科	面接 (個人)	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。
保健医療学部 臨床工学科	面接 (個人)	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。

(4) 試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
保健医療学部 看護学科	令和7年11月15日(土) 小論文 9:00～10:00 面接(個人) 11:00～	末広キャンパス
保健医療学部 臨床工学科	令和7年11月15日(土) 小論文 9:00～10:00 面接(個人) 11:00～	中央キャンパス

(注) 試験の詳細は、受験票送付の際に通知します。

(5) 出願手続

① 出願期間

令和7年11月1日(土)～11月7日(金) ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送(書留速達郵便)のみとし、出願期間最終日の午後5時必着とします。
出願期間後に到着した書類のうち、出願期間最終日の前日までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 入学検定料

入学検定料 17,000 円

本学から送付する振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協)の窓口から振込んでください。振込手数料は、志願者負担となります。

(注) 金融機関は土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。また、ゆうちょ銀行・郵便局、またはATM(現金自動預払機)、携帯電話、及びパソコン等からの振込は受け付けできません。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、17,000 円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000 円を返還します。

ウ 入学検定料を17,000 円よりも多く払い込んだ場合は、超過した金額を返還します。

※ 上記「ア」～「ウ」に該当する場合は、本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、令和8年2月27日(金)までに連絡してください。本学から該当者に入学金返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要なとなりますので、各自で大切に保管してください。

③ 出願方法

志願者は、以下の出願書類を、一括して本学から送付する入学願書提出用封筒に入れ、差出人欄等に必要事項を記入し、出願期間内に以下の提出先へ書留速達郵便で郵送してください。

※ 本学窓口への持込みでは受理いたしません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。

【提出先】 公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更、及び入学検定料の返還（【入学検定料の返還について】(25 ページ)に記載した場合は除く。）には応じません。

【出願書類】

出願書類		説明事項
1	入学志願書	本学所定の様式を使用し、記入例に従い志願者本人が記入してください。
2	写真票	写真票の所定欄に、写真（無帽上半身正面、出願前 3 か月以内に撮影したもの、縦 4cm×横 3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志願学科名及び氏名を明記）を貼り付けてください。
	受験票	本学所定の様式を使用してください。
	入学検定料振込金証明書貼付用紙	入学検定料振込後、「振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」に貼ってください。 「領収書（本人控）」は大切に保管してください。納入方法は本要項 25 ページの「(5) ②入学検定料」を参照してください。
3	受験票送付用封筒	長 3 封筒に確実に届く住所を記入し、410 円分（速達料金含む。）の切手を貼ってください。
4	調査書等	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を提出してください。これらの書類を提出できない場合は、提出できない旨を証明する書類を、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成してもらい提出してください。
5	履歴書	本学所定の様式により、社会人としての実務経験（非正規雇用及び NPO、NGO での活動を含む。）を 3 年以上有することが判るように作成し、提出してください。
6	志願理由書	本学所定の様式に、志願理由をできるだけ具体的に 500 字以内で作成し提出してください。
7	実務経験の証明書	志願者が実務経験（非正規雇用及び NPO、NGO での活動を含む。）を 3 年以上有することを証明する勤務先等の在籍証明書（様式任意）を提出してください。本証明書提出に関する疑問点等については、本要項 34 ページの「IX. お問い合わせ先」まで確認してください。

(6) 受験票の発送

令和7年11月11日(火)頃に発送します。

令和7年11月13日(木)までに受験票が到着しない場合は本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」まで連絡してください。

(7) 合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。合格者には、「合格通知書」を送付します。

発表日時 令和7年12月1日(月)午前10時(令和7年12月8日(月)まで)

発表方法 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

(8) 入学手続

入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】令和7年12月1日(月)～12月8日(月) ※ 期間内必着

IV. 外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜

外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（以下「外国ルーツ選抜」という。）はWeb出願の受付は行っておりません。出願を希望する場合は、事前に本学へ電話で連絡し出願書類を取り寄せる必要があります。出願書類の取り寄せは連絡を受けてから到着までに5日～7日ほどかかります。出願に余裕をもって請求してください。

（１）募集人員

学部学科	募集人員
保健医療学部 看護学科	若干名

（２）出願資格

出願及び入学の時点で、両親又は片方の親が外国籍を有し、日本に在住している者（本人の国籍は問わないが、在留資格が留学でないもの〔なお、在留資格において特別な事情があれば受験を認める場合がありますのでご相談ください。〕）で、次のア～ウのいずれかに該当する者。

ア 日本の高等学校を卒業した者および令和8年3月までに卒業見込みの者

イ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

ウ 上記ア、イに該当せず、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 上記出願資格「イ」又は「ウ」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1か月前までに本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」まで確認してください。

（３）選抜方法

本選抜は、大学入学共通テストを課しません。調査書、志願理由書の出願書類審査、面接、小論文により総合的に判定します。面接、小論文の試験は日本語で行います。

学部学科	科目名	配点	内容
保健医療学部 看護学科	面接 (個人)	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、日本語で論述することを求めます。

（４）試験日・試験時間・試験場

学部学科	試験日・試験時間	試験場
保健医療学部 看護学科	令和7年11月15日（土）	末広キャンパス
	小論文 9:00～10:00	
	面接（個人） 11:00～	

（注）試験の詳細は、受験票送付の際に通知します。

(5) 出願手続

① 出願期間

令和7年11月1日(土)～11月7日(金) ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送(書留速達郵便)のみとし、出願期間最終日の午後5時必着とします。出願期間後に到着した書類のうち、出願期間最終日の前日までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 入学検定料

入学検定料 17,000 円

本学から送付する振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協)の窓口から振込んでください。振込手数料は、志願者負担となります。

(注) 金融機関は土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。また、ゆうちょ銀行・郵便局、またはATM(現金自動預払機)、携帯電話、およびパソコン等からの振込は受け付けできません。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、17,000 円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000 円を返還します。

ウ 入学検定料を17,000 円よりも多く払い込んだ場合は、超過した金額を返還します。

※ 上記「ア」～「ウ」に該当する場合は、本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、令和8年2月27日(金)までに連絡してください。本学から該当者に入学校返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要なとなりますので、各自で大切に保管してください。

③ 出願方法

志願者は、以下の出願書類を、一括して本学から送付する入学願書提出用封筒に入れ、差出人欄等に必要事項を記入し、出願期間内に以下の提出先へ書留速達郵便で郵送してください。

※ 本学窓口への持込みでは受理いたしません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。

【提出先】 公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更、及び入学検定料の返還(【入学検定料の返還について】(29ページ)に記載した場合は除く。)には応じません。

【出願書類】

出願書類		説明事項
1	入学志願書	本学所定の様式を使用し、記入例に従い志願者本人が記入してください。
2	写真票	写真票の所定欄に、写真（無帽上半身正面、出願前3か月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志願学科名及び氏名を明記）を貼り付けてください。
	受験票	本学所定の様式を使用してください。
	入学検定料振込金 証明書貼付用紙	入学検定料振込後、「振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」に貼ってください。 「領収書（本人控）」は大切に保管してください。納入方法は本要項29ページの「(5) ②入学検定料」を参照してください。
3	受験票送付用封筒	長3封筒に確実に届く住所を記入し、410円分（速達料金含む。）の切手を貼ってください。
4	調査書等	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を提出してください。これらの書類を提出できない場合は、提出できない旨を証明する書類を、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成してもらい提出してください。
5	住民票（写し）等	受験者本人と両親又は片方の親との続柄が確認でき、かつ親の国籍が確認できる住民票（写し）を提出してください。なお、住民票に親の国籍の記載が無い場合は、親の在留カード（写し）も提出してください。
6	志願理由書	本学所定の様式に、志願理由をできるだけ具体的に500字以内で作成し提出してください。

(6) 受験票の発送

令和7年11月11日(火)頃に発送します。

令和7年11月13日(木)までに受験票が到着しない場合は本要項34ページの「IX. お問い合わせ先」まで連絡してください。

(7) 合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページに公表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。合格者には、「合格通知書」を送付します。

発表日時 令和7年12月1日(月)午前10時(令和7年12月8日(月)まで)

発表方法 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>

合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

(8) 入学手続

入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

【手続期間】令和7年12月1日(月)～12月8日(月) ※ 期間内必着

V. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に事前相談書を提出し、相談してください。

(1) 提出書類

本学所定の事前相談様式(本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項)をダウンロードしてください。参考となる書類がある場合はそれらを添付してください。

(2) 相談締切日

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① 学校推薦型選抜(地域推薦) | 令和7年10月10日(金) |
| (一般推薦) | 令和7年11月21日(金) |
| ② 社会人選抜・外国ルーツ選抜 | 令和7年10月10日(金) |

(3) 相談先及び提出先

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

電話 : 0761-23-6610

※ 月曜日から金曜日(祝日を除く。)の午前9時から午後5時まで

E-mail : nyushi@komatsu-u.ac.jp

VI. 選抜情報の公表

(1) 出願状況

出願期間終了後に、学部学科別の志願者数及び倍率を本学ホームページに公表します。

(2) 成績開示

学校推薦型選抜及び社会人選抜については、個人成績の開示は行いません。

VII. 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護法及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜に用いた試験成績及び入学手続時に提出いただく身上書等の書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務

(2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務

(3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務

(4) 入学料減免、授業料減免、奨学生選考等の修学支援に関わる業務

- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜方法等における調査研究、分析業務
- (7) 卒業（修了）生に対する学習成果等調査、同窓会活動への支援等に関する業務
- (8) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

また、本学の学校推薦型選抜における合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を、独立行政法人大学入試センターを通じて併願先の国公立大学に通知します。

なお、上記業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあります。

VIII. 初年度学納金等(予定)

(1) 入学料^{※1}

市内者 ^{※2}	282,000 円
その他	423,000 円

※1 納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

※2 「市内者」とは、「入学者本人又は保護者^{※3}が、入学前年の4月1日以前から引き続き、小松市内に住民登録がある者」を指します。

※3 保護者とは、父母又は主たる生計維持者をいいます。

(2) 授業料

年間 585,800 円

(3) その他

① 実習費

年間 50,000 円（教育実習費：生産システム科学部及び保健医療学部）

実習費は、教育研究のための研究設備や実験、実習のための経費の一部となります。

実習衣、教科書代等は含まれていません。

② 保護者会費

20,000 円（年会費 5,000 円/年を4年間分一括納入となります。）

③ 同窓会費

10,000 円（終身会費）

④ ノート型パソコンの準備について

講義で使用するノート型パソコンを、授業開始時までに自費で準備していただきます。詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。

Ⅸ. お問い合わせ先

月曜日から金曜日(祝日を除く。)の午前9時から午後5時の間に以下までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10 (中央キャンパス)

電話 : 0761-23-6610 E-mail : nyushi@komatsu-u.ac.jp

【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

X. 試験場所在地等

(1) 中央キャンパス

【所在地】〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

【アクセス】小松駅から徒歩約 1 分

【実施学部学科】国際文化交流学部 国際文化交流学科

(2) 中央第2キャンパス

【所在地】〒923-0868 石川県小松市日の出町 1 丁目 100 番

【アクセス】小松駅から徒歩約 1 分

【実施学部学科】保健医療学部 臨床工学科

(3) 末広キャンパス

【所在地】〒923-0961 石川県小松市向本折町へ 14 番地 1

【アクセス】小松駅から路線バスで「市民病院」下車(所要時間約 5 分)、
徒歩約 5 分、小松駅から徒歩約 23 分

【実施学部学科】保健医療学部 看護学科



(4) 栗津キャンパス

【所在地】〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

【アクセス】栗津駅から徒歩約11分

【実施学部学科】生産システム科学部 生産システム科学科

